

今月の一言

キーワード：柔らかさ

著書：人を見抜く技術

著者：桜井 章一 東京・下北沢に生まれる。大学時代に麻雀に触れ、のめり込む。昭和30年代後半、裏プロの世界で勝負師としてデビューし、瞬間から頭角を現す。以来、20年間「代打」として超絶的な強さを誇り、「雀鬼」の異名をとる。その間、一度も負けなしの無敗伝説をつくった。

私が考える勝負の三原則は「臨機応変」「適材適所」「柔軟性」だ。臨機応変はどんな状況にも動じず冷静に対応すること。適材適所はその場その場にふさわしい行動・動きをとらなければならないということ。そして最後の柔軟性は、肉体的な柔軟性と言うことではなく、思考的な柔軟性「どう攻めようか、どう受けようか」という考え方の柔らかさを示している。（中略）

思考の固い人は、筋肉や関節の動きなど体のいたる箇所が硬い。そして体の硬い人は心も硬くなってくる。「固い意志」を持つことが日本では美德とされるようなところがあるが、本来は柔軟な「柔らかい意志」のほうがいい。

アスリートでも、精神的・肉体的に柔軟性を欠いているために、才能があるにもかかわらず伸び悩んでいる人もたくさんいる。柔軟性というのは、あらゆる勝負事において大切な要素なのだ。

頑固者！頑固一徹！昔気質！それもいいが・・・

柔軟に、いこまいけ！

2011年5月25日

さいのう とおる

追伸：夏の電力不足が懸念されています。節電対策を各自で実行しましょう！